

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第11回)

●「スペイン・ブルゴスでのESTの取組み」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 山本 俊行】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第11回)

●「松山市でのESTの取組み」

【松山市都市整備部総合交通課副主幹 石井 朋紀】

3. ニュース／トピック

●平成18年度EST普及推進フォーラム 開催記録を公開

【EST普及推進委員会事務局】

●高速道路ネットワークの有効活用に向けた料金社会実験の実施【国土交通省】

●休日渋滞ポイントにおける時間帯料金割引の社会実験について【国土交通省】

●夜間に割引料金で利用できる時間を拡大する社会実験について【国土交通省】

●G8ハイリゲダム・サミットについて【国土交通省】

●新潟市をオムニバスタウンに指定【国土交通省・警察庁】

●次世代自動車・燃料イニシアティブ」とりまとめ【経済産業省】

●市町村を対象としたバス支援ソフトの開発【中国運輸局】

●「エコドライブ中」ステッカーの配布を開始【社団法人日本自動車連盟】

●路上自転車等駐車場の社会実験を開始【仙台市】

●「御堂筋エコロード推進協議会」の設置及び第1回運営委員会の開催【大阪市】

●「OSAKA PiTaPa」の楽楽ポケットを活用したパーク&ライド実証実験の実施

【大阪市交通局】

●バスの情報を提供する「おでかけふくやマップ」がスタート【福山市】

●都バスへのバイオディーゼル燃料導入事業について【東京都交通局】

●首都高速道路のETC利用率【首都高速道路株式会社】

●ハイブリッド車の累計販売台数が100万台を突破【トヨタ自動車】

●ハイブリッド小型トラックを世界最高レベルの環境性能に改良し新発売【三菱ふそう】

●「第15回佐川急便全国ドライバーコンテスト」を開催【佐川急便】

4. イベント情報

●「低公害車普及促進セミナー in 北海道」

●「自動車環境セミナー in あまがさき」

- 「環境共生社会の交通 ～持続可能な交通まちづくり～」
- 「環境にやさしい交通まちづくり国際シンポジウム」
- 「環境 ITS シンポジウム」
- 「Honda の燃料電池自動車教室」
- 「第二回 日本モビリティ・マネジメント会議」参加締切迫る
- 「エコライド2007イン仙台(パレード走行)実施」

5. その他

- 交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集中
- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第11回)

- 「スペイン・ブルゴスでのESTの取組み」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 山本 俊行】
 (名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授)

3月7日～11日に、スペインのブルゴスという町で推進されているESTの取組みを見学に行きました。ブルゴス市はスペイン北中部の都市で、市中心部にあるサンタ・マリア大聖堂は世界遺産にも登録されていますが、人口は17万人程度であり我が国の都市と比べると中小都市の規模です。現在、ECのCiViTASというプログラムに基づいてESTの取組みを進めています。

実施施策は多岐に渡りますが、多くがもともと市で取り組まれていたものです。欧州ではバイオディーゼルの導入が盛んですが、ここでも3つの給油所を導入し市バス車両の燃料に混合している他、新たに37台のバイオディーゼルエンジンバスを導入しており、このうち27台は市独自の予算によるものです。

一方、歴史的都心部には自動昇降式の車止めを設置し、自動車の流入を制限して歩行者空間を拡大し都心部活性化を図っています。また、自転車利用促進策として、ICカードとRFIDタグを用いた自転車共同利用システムを導入するとともに、市内の自転車道も全長38kmのネットワーク化を目指して整備が進められています。

さらに、絵葉書によるEST施策アイデアコンテストやバス車両へのステッカー貼付け、小学校での交通ワークショップ開催など様々な広報活動により市民の認知を高める施策も実施されています。

これら全ての施策が導入可能とは限りませんが、ESTは地球規模の人類共通の課題ですので、世界の都市と積極的に情報交換をして我が国での適用を検討すべきかと思います。(ブルゴス市施策概要についてはESTポータルサイト(<http://www.estfukyu.jp/>)でも報告しています)

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第11回)

●「松山市でのESTの取組み」

【松山市都市整備部総合交通課副主幹 石井 朋紀】

松山市では、進展する地球温暖化等の環境問題や中心市街地の活性化を目的として、コンパクトシティの概念を取り入れた「歩いて暮らせるまちづくり」構想を策定し、これを支える交通として、中心部における自動車交通の削減や自動車から公共交通への利用転換策をハード、ソフトの面から進めているところです。

ハード面では、交差点の立体化や幹線道路整備といった道路の容量拡大に加え、交通事業者の協力のもと郊外鉄道駅の結節点整備やそこからのループバスの運行、PTPS、バスロケーションシステムの整備、低床バスの導入を進め、鉄道・バスを快適に利用できるよう努力しているところです。しかしながら、ハード整備だけでは、なかなか利用転換が進まないことから、広告やシンポジウムと言った従来行なわれてきた手法に加え、モビリティ・マネジメントを行なっています。一つは住民を対象とした、ワークショップ形式のトラベルフィードバック、もう一つは小学5年生を対象とした、バスの乗り方教室や公共交通を利用したトリップチャレンジです。前者については、今年度ワークショップ以外の別の方法でのトラベルフィードバックを考えています。また、後者は、結果を伴うのに時間がかかると思われがちですが、彼らがあと8年程度で自動車の免許を取得年代になることと、都市計画決定から道路整備まで10年程度の期間を要するものも多くあることを考えると、決して長いとは思いません。また、子供に促され休日に家族で公共交通を利用して買い物に行ったといった短期的な効果も現れました。今後も引き続きハード、ソフトの両面からCO2削減に取り組んでいきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●平成18年度EST普及推進フォーラム 開催記録を公開

【EST 普及推進委員会事務局】

昨年度開催されたEST普及推進フォーラムの開催記録をESTポータルサイトに公開しました。講演者の発言内容から発表資料まで詳しく掲載しておりますので、お役立てください。

http://www.estfukyu.jp/forum_kekka_link.html

●高速道路ネットワークの有効活用に向けた料金社会実験の実施【国土交通省】

国土交通省は、道路特定財源の見直しのため、高速道路料金引下げに伴う効果と影響、及びその際の減収額等の把握を目的として、料金社会実験を6月より順次開始し、平成20年度以降の新たな措置に向け、詳細の検討を進めます。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060608_.html

●休日渋滞ポイントにおける時間帯料金割引の社会実験について【国土交通省】

国土交通省は、道路特定財源の見直しのため、休日に渋滞ポイントを通過する交通を20時から22時までの時間帯にシフトさせるため料金割引を行い、交通分散による効果及び影響や料金収入の変化等について検証する実験を24日より開始しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060608_2_.html

●夜間に割引料金で利用できる時間を拡大する社会実験について【国土交通省】

国土交通省は、昨年末の「道路特定財源の見直しに関する具体策」の閣議決定に伴い、高速道路の深夜割引の適用時間を拡充することによる、一般道路及び高速道路における交通量の変化や料金収入に与える影響を検証する実験を24日より開始しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060608_3_.html

●G8ハイリゲンダム・サミットについて【国土交通省】

6月6日から8日まで、ドイツ・ハイリゲンダムで主要国首脳会議が開催されました。この中で、国土交通省関連では、サミット首脳宣言「世界経済における成長と責任」において、エネルギー効率(運輸)が盛り込まれました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010611_2_.html

●新潟市をオムニバスタウンに指定【国土交通省・警察庁】

国土交通省及び警察庁は、「人・まち・環境にやさしい交通」というバスの社会的意義を最大限に発揮したまちづくりに向けての市町村の取組みを促進し、地域の自動車交通が抱える諸問題の解決を図るため、この度新潟市をオムニバスタウンに指定しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090604_.html

●次世代自動車・燃料イニシアティブ」とりまとめ【経済産業省】

経済産業省は、昨年末発表しました「次世代自動車・燃料イニシアティブ」に基づき、本年1月に甘利経済産業大臣、張日本自動車工業会会長、渡石油連盟会長による三者懇談会を立ち上げ、本イニシアティブの具体化の検討を開始し、報告書を取りまとめました。

<http://www.meti.go.jp/press/20070528001/20070528001.html>

●市町村を対象としたバス支援ソフトの開発【中国運輸局】

中国運輸局は、市町村が地域に適したバス運行計画を策定する際に、支援するソフトとして「ComPASS」を、市町村がコミュニティバスを運行する際に安全運行や管理業務を効率的かつ適切に実施するための支援ソフトとして、「ComMASS」を開発しました。

<http://www.cgt.mlit.go.jp/koukan/compass.html>

<http://www.cgt.mlit.go.jp/koukan/commass.html>

●「エコドライブ中」ステッカーの配布を開始【社団法人日本自動車連盟】

JAF(社団法人日本自動車連盟)は、エコドライブに努める自動車ユーザーを応援するために「エコドライブ中」ステッカーを作製し配布を開始しました。「ふんわりアクセルeスタート」などのエコドライブを実践しやすい環境を作り、推進していくことが狙いです。

http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2007_05.htm

●路上自転車等駐車場の社会実験を開始【仙台市】

仙台市では、都心部の路上に放置されている自転車やバイクのほとんどは短時間放置です。このような放置自転車等対策として、仙台市は、道路上に自転車等駐車を設置し、料金設定や運用方法の検証を目的に社会実験を行ないます。

<http://www.city.sendai.jp/kensetsu/dorokanri/jikken/index.html>

●「御堂筋エコロード推進協議会」の設置及び第1回運営委員会の開催【大阪市】

大阪市は、事業者・関係機関等と連携して「(仮称)御堂筋エコロード推進協議会」を設置し、第1回運営委員会を開催しました。本協議会では、御堂筋沿道において、各会員がエコドライブの実践やグリーン配送の取組、エコカーの活用等の環境にやさしい自動車利用を推進します。

<http://www.osaka-bbnet.jp/mayor/kaiken070613.html>

●「OSAKA PiTaPa」の楽楽ポケットを活用したパーク&ライド実証実験の実施

【大阪市交通局】

大阪市交通局は、大阪中心市街地の渋滞緩和やCO2排出量削減による環境改善を図り、公共交通機関の利用を促進するため、交通系ICカード「OSAKA PiTaPa」を活用したパーク&ライドの実証実験を行い、駐車場利用と大阪市営交通利用とをシステム連動させた先進的なサービスの実現をめざします。

<http://www.kotsu.city.osaka.jp/news/houdouhappyou/19/070525.html>

●バスの情報を提供する「おでかけふくやマップ」がスタート【福山市】

福山市は、パソコンや携帯電話を使って、バスの時刻表や運賃、所要時間を検索できる「おでかけふくやマップ」を開始しました。このシステムでは、地図による出発地・目的地の設定が可能で、普段、バスを利用しない人にとっても使いやすいものになっています。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdnKey=2432>

●都バスへのバイオディーゼル燃料導入事業について【東京都交通局】

東京都交通局は、国の規格に適合したバイオディーゼル燃料を混合した軽油を都バスに率先して導入し、営業走行を通じたB5燃料導入の効果を検証するとともに、今後の普及拡大に向けたバイオディーゼル燃料利用などのあり方を提示していきます。

http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/newsevent/news/bus/2007/bus_p_200705301_h.html

●首都高速道路の ETC 利用率【首都高速道路株式会社】

高速道路料金所でのETCの利用は導入以来、着実に増加しています。首都高速道路では、6月11日(月)から6月17日(日)の週間平均 ETC 利用率は 75.9%となりました。なお、6月14日(木)の利用率が 78.6%と過去最高を記録しました。

<http://www.shutoko.jp/etc/service/availability/index.html>

●ハイブリッド車の累計販売台数が 100 万台を突破【トヨタ自動車】

トヨタ自動車株式会社は、ハイブリッド車の累計販売台数が本年5月末までに、国内と海外を合わせ、100万台を突破したと発表しました。トヨタは、1997年に世界初の量産ハイブリッド乗用車「プリウス」を発売し、2000年からは、北米や欧州など海外でも販売を開始しています。

http://www.toyota.co.jp/news/07/Jun/nt07_0602.html

●ハイブリッド小型トラックを世界最高レベルの環境性能に改良し新発売【三菱ふそう】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、昨年7月5日に発表・発売した「キャンター エコ ハイブリッド」を改良し、更にクリーンで低燃費なハイブリッド小型トラックとし6月5日(火)より、全国の三菱ふそう地域販売部門および三菱ふそう販売会社より発売しました。

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/news_content/070605/070605.html

●「第 15 回佐川急便全国ドライバーコンテスト」を開催【佐川急便】

佐川急便株式会社は、運転技術・点検技術の向上及びエコドライブの実践により、ドライバーに交通安全・環境問題に対する意識の高揚を促し、交通事故防止及び環境保全を図ることを目的に、6月1日(金)、2日(土)の2日間にわたり、「第15回 佐川急便全国ドライバーコンテスト」を開催しました。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2007/news20070605.html>

4. イベント情報

●「低公害車普及促進セミナー in 北海道」

～日本最先端の環境に優しい車「展示・試乗会」実施！！～

日時:2007年6月29日(金) 13:30～16:00

場所:札幌コンベンションセンター

主催:国土交通省北海道運輸局、財団法人運輸低公害車普及機構

<http://www.hkt.mlit.go.jp/press/presspdf/190622kankyoku.pdf>

- 「自動車環境セミナー in あまがさき」
 ～環境にやさしい！天然ガス(CNG)自動車を全国に！！～
 日時:2007年7月2日(月) 13:00～17:20(予定)
 場所:アルカイツホール・オクト(尼崎市)
 主催:国土交通省近畿運輸局、尼崎市、近畿エコ・トラック推進協議会
<http://www.kkt.mlit.go.jp/news/files/1180572852.pdf>

- 「環境共生社会の交通 ～持続可能な交通まちづくり～」
 (土木学会認定 CPD プログラム)
 日時:2007年7月6日(金) 12:30～17:30
 場所:井上記念館井上円了ホール(東洋大学白山キャンパス内)
 主催:豊田都市交通研究所、東洋大学学術研究推進センター
<http://www.judi.gr.jp/toshi-event/2007/0706sympo.pdf>
 ※基調講演者のレルネル元クリチバ市長が健康問題のため来日できなくなり、
 中村ひとし元クリチバ市環境局長に変更になりました。

- 「環境にやさしい交通まちづくり国際シンポジウム」(土木学会認定 CPD プログラム)
 日時:2007年7月9日(月) 13:30～17:00
 場所:JA あいち豊田 ふれあいホール(市役所西庁舎西)
 主催:(財)豊田都市交通研究所
<http://www.ttri.or.jp/work/pdf/07EST-1.pdf>

- 「環境 ITS シンポジウム」
 日時:2007年7月13日(金) 13:00～17:00
 場所:東京大学本郷キャンパス 薬学系総合研究棟 2階 講堂
 主催:特定非営利活動法人 ITS Japan
<http://www.its-jp.org/event/kankyoITS/kankyoITSsym07.htm>

- 「Honda の燃料電池自動車教室」
 日時:2007年7月22日(日) 10:30～12:30
 場所:ウエルカムプラザ青山
 主催:本田技研工業株式会社
<http://www.honda.co.jp/FCX/experience/index.html>

- 「第二回 日本モビリティ・マネジメント会議」参加締切迫る
 日時:2007年7月27日(金)～28日(土)

場所: 札幌コンベンションセンター

主催: (社)土木学会、国土交通省(予定)

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

●「エコライド2007イン仙台(パレード走行)実施」

日時: 2007年8月19日(日) 9:00～

場所: 河北新報社前一館コミュニティーセンター前(約18.5キロ)

主催: 河北文化事業団、仙台市

<http://www.kahoku-bunka.or.jp/>

※上記ホームページには、来月掲載予定。

5. その他

●交通エコロジー・モビリティ財団がシンボルマーク・イメージキャラクターを募集中

交通エコロジー・モビリティ財団では、財団のシンボルマーク及びイメージキャラクターを募集中です(募集期間: 6月1日から8月31日まで)。詳細は財団のホームページをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

http://www.ecomo.or.jp/gaiyo/gaiyo_symbol_boshu.htm

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: EST@ecomor.jp (担当: 市丸)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: EST@ecomor.jp

ESTポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>